

## 【視点】 広報対象者と広報手段および内容のマッチング

### 1 ひきこもりに関する正しい理解の促進

誰に対する啓発が必要か？優先順位は？

- ①民生・児童委員 動画で実態を知り、講義で支援方法を学ぶ
- ②若者（大学生） SNS(twitter) 短い動画（Tiktok）
- ③啓発的アンケート調査

### 2 ひきこもり本人・家族への情報発信

#### ①家族が受け取りやすい伝達経路

自治体広報紙

家族会が広報活動

- ②本人に届くメディア SNS？ 援助要請行動を励ます内容  
当事者の経験や意見を聞く →当事者に広報を頼む